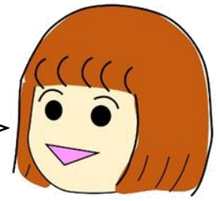
サケの観察日記 No.1

平成29年4月9日（日）

サケの稚魚放流

毎年3月と4月にサケの稚魚（赤ちゃん）を川にかえしています。
今年も4月9日に旭橋の近くで300匹のサケの稚魚を川にかえしました。



サケの稚魚はこのあと海へ旅に出て、数年後にこの旭橋の近くの川に戻ってきます。
ただ、300匹のうち戻ってこられるのは、ほんの数匹なのです。

平成29年10月21日（土）

海からサケの大群が!!

わかりますか?
波の中にサケが見えていますよ。
日本海から川に戻る直前のサケたちです。

そしてその近くの川は一面サケだらけでした。

平成29年10月26日（木）

旭川にもサケがかえってきた！

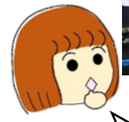
毎年稚魚を放流している、旭橋の近くでサケを探してみたら・・・
いました!
海から157㎞の距離をさかのぼってかえってきてくれました。

数えてみたら、15匹ほどいます。（上流と下流あわせて）
このサケの中に、数年前に放流したサケがいるかも知れません。

平成29年11月21日（火）

水槽を準備

12月にサケの卵をもらって育てることになっているので、今から水槽の準備をします。
水や石を入れてろ過器やクーラーも動かしました。



平成29年12月14日（木）

サケの卵を受けとり水槽へ

「さけ・ます内水面水産試験場」（恵庭）より発眼卵50粒を受けとりました。
クーラーボックスで静かに運び水槽に入れます。水温は8℃です。
（採卵月日10月30日・発眼月日12月1日・前日までの積算温度は340.4℃）

平成29年12月21日（木）

卵のようす

卵がきてから1週間たちました。
コロコロころがって動くので、いつの間にか重なっていました。（人気のスポットなのかな?）
卵の中が薄くすけて目がはっきり見えるので、こちらも観察されている気分になります。
（　積算温度は394.3℃　）

旭川市土木部公園みどり課